

新潟県総合計画評価・策定検討委員会 第5回全体会議 議事概要

1 開催概要

- (1) 日 時：令和6年11月21日（木）10：00～11：00
- (2) 会 場：新潟県庁西回廊2階 講堂（新潟市中央区新光町4-1）
- (3) 出席者：委員21名中、19名出席（うちWEB出席5名）

2 議事概要

(1) 事務局説明

議題 次期「新潟県総合計画」（仮称）素案について事務局から説明を行った。

(2) 主な委員意見

事務局説明後の意見交換における主な委員意見は以下のとおり。

ア 人口ビジョンについて

- 2050年に合計特殊出生率2.07を上回るという目標の達成は厳しいとは思いますが、人口を定常化させることが必要であり、記載すべき内容だと思う。目標を掲げた以上、達成に向けて県民へアピールできる政策を打ち出していきたい。
- 本来は、新潟の人口が増加し、一層発展していくことが望ましいと思うが、若者や子育て世代の実態を見ると厳しい現実がある中、ひとまずは人口定常化を目指すという目標は妥当だと思う。

イ 計画の名称や県民への周知について

- 計画の名称について、内容を想起しやすく、県民に伝わりやすい名称を検討してはどうか。
- 若い世代を含めた県民に総合計画の内容がしっかりと伝わるよう、分かりやすい周知方法を検討していただきたい。また、単に伝えるだけでなく、若者やこどもの意見を今後の政策に反映していくことが重要である。

ウ EBPM（証拠・根拠に基づく政策立案）の推進について

- 県や市町村が保有する様々なデータの体系的な整理等を通じて、職員がEBPMを実践できるような環境整備を進めるなど、全庁的に、より体系的にEBPMを推進する体制づくりを進めていただきたい。

エ その他

- 次期総合計画期間の8年間は県だけで政策に取り組むのではなく、いかに県民・民間の協力を得て、その力を引き出すかということが重要であり、「県民と共に取り組んでいく」という姿勢を示すような記載を盛り込むべきである。
- 総合計画には、基本理念「住んでよし、訪れてよしの新潟県」の実現のための様々な政策が盛り込まれているが、取組を進めていくに当たっては、より具体的な新潟県の将来像・ビジョンがあると良い。

以 上